

SNSと承認欲求

F2班

1. 序論



他者承認を満たすため！！
＝自己肯定感が低い

仮説

「自己肯定感が高い人はSNSに依存しにくい。」

4. まとめ・結論

本調査において仮説は立証されなかったが、多くの論文や世界的な調査では二つの関連性は高い



三高生はSNS以外のものでも他者承認を満たそうとしている

自己肯定感の底上げが必要

2. 材料と方法

○論文



マズロー ; 欲求階層説

【他者承認】他者から認められたい、注目されたい

【自己承認】自分で自分自身を認めること

ツイートの拡散、いいね

『自分は誰かに承認されている』

SNSを用いるメリット

誰でも、誰からでも、指先ひとつ 簡単

誰からも誰でも承認が得られる
＝より多くの承認が得たい

○アンケート

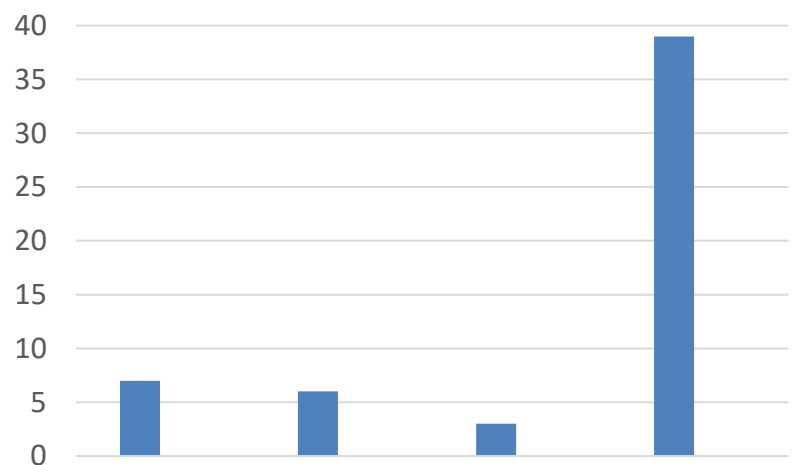
対象；三高の生徒56人

8個の項目中5個を満たす→スマホ依存

10個の項目中6個を満たす→自己肯定感が高い



3. 結果・考察



自己肯定感 高 高 低 高 低 低

<結果>

- ・自己肯定感とSNS依存の関係性は低い
- ・自己肯定感が低く、依存度も低い層が多い

「自分自身に満足している。」
「今の自分が好きだ。」
という項目の票が1番少なかった

<考察>

アンケートの対象が狭い
→結果に偏りがでてしまった

- ・SNSでの評価が高いことで自己肯定感が満たされている人もいる可能性がある
- ・他者承認をSNSに求めているいない

参考文献

承認欲求についての心理学的考察—現代の若者とSNSとの関係から— 正木大貴